

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	無差別級 日本酒利き酒コンテストと 発酵食品 子供食べ比べチャレンジ の開催
事業主体 (連絡先)	長野県酒造組合 若葉会 事務局 TEL026-227-3133 info3133@nagano-sake.or.jp
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,404,340円 (うち支援金: 1,045,000円)

事業内容

県内の酒蔵50社以上で組織される長野県酒造組合主催で、利き酒選手権大会と、ファミリー向けの甘酒の食べ比べ競技を8月末に行った。従来から行われていた利き酒選手権は、アマチュアのみで行われていたが、本事業では参加資格を酒造業者や小売店主など、業界関係者全体に広げることにより、本当に実力のある日本酒の利き酒チャンピオンを決める大会として注目され、県内外から定員を上回る200名が参加した。10種類のマッチング方式で、9名が決勝進出。決勝進出者のうち、県外からの参加が半数を占め、神奈川出身の男性が初代チャンピオンとなった。また、長野県が進める発酵長寿に関する展示も合わせて行われた。



【利き酒の様様】

【目標・ねらい】

- ① 信州の発酵食品、酒の啓蒙
- ② 日本酒の利き酒競技の啓蒙
- ③ 運営にあたる関係者（酒蔵、県担当者、飲食関係者、小売店）の一体感の醸成
- ④ 松本地域の市民との交流

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 事業を通じて信州地酒、甘酒など、と長寿を支える発酵技術や食文化について県内外にPRすることができた
- ② 10種類のお酒の特徴を見極め、記憶し、組み合わせるといった競技の醍醐味は、言葉や性別、国籍、年齢を超えて価値があることを伝えることができた。
- ③ 主催団体の酒造組合の組合員、業界関係者が力を合わせて新しい事業を立ち上げ、成功に導くことができ、自信と信頼、一体感を醸成できた。
- ④ 開催を通じて、開催地松本の市民や、関係者との交流を深めることができた。

※自己評価【A】

【理由】

計画通りに実施し、期待以上の効果を得ることができ、次年度継続に向けて自信を持つことができたため。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

来年8月に第2回を開催する予定。改善点は主に3点。①参加可能人数を200人から300人に拡大すること。②利き酒「世界」選手権と標榜し、国際大会として定着させるために、英語での情報発信を並行し、バイリンガルで運営すること。③元気づくり支援金に依存せず、自社財源で継続可能になるよう、参加費の値上げとそれに見合ったサービスの向上を図りたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある